

経 済 建 設 常 任 委 員 会 要 点 記 録

日 時	令和7年3月14日	開 会	10時00分	会議時間
		閉 会	14時22分	3 : 05
場 所	委員会室			
出 席 者	武藤委員長・松島副委員長・川原委員・川股委員・早坂委員・吉永委員・柏野委員 傍聴議員： 生本議員、矢野議員、新岡議員、三上議員			
説 明 者	副市長、経済部長、建設部長、水道部長 外 計22名			傍聴者数 1人
事 務 局	議会事務局長、同次長、庶務担当主査			記 者 1人

会 議 の 経 過 事 項

西中経済部次長	委員長が開会を告げ、傍聴の許可をし、議事日程について説明する。
	●日程1. 所管事務調査について 1) 報告事項 資料説明 事故等発生（処理）報告について 【質疑】 なし 日程1. 所管事務調査について 終了
	●日程2. 経済部関連 (1) 報告事項
市川農政課長	資料説明①地域計画（案）について
上山商工労働課長	資料説明②恵庭市中小企業等振興融資制度の見直し案について
	資料説明③物価高騰等に伴う経済対策について
	資料説明④第3期恵庭市中小企業振興基本計画の策定について
	資料説明⑤恵庭市農商工等連携推進ネットワークの取組について
廣瀬花と緑・観光課長	資料説明⑥次世代半導体プロジェクトに対する恵庭市の取組について
	資料説明⑦ルルマップ自然公園ふれらんどについて
	資料説明⑧盤尻地区観光まちづくり事業について
	資料説明⑨（仮称）恵庭市花と緑の文化センターについて
早坂委員	【質疑】 ① 資料②、経営安定資金を今度中止して、分かりやすいように改正したと言われましたが、その点についてもう少し詳しく伺います。 ② 資料⑤、このネットワーク会員事業者についてもう少し説明をお願いします。 また、新たな商品をつくったということですが、その反応と伺いますか、評価はどのようなものだったのか伺います。

上山商工労働課長	③ 資料⑥、次世代半導体プロジェクトに対する恵庭市の取組で、いろいろオンラインにて恵庭市の紹介をして、魅力を紹介したということですが、恵庭市に移ってくる、あるいは家を建てるのはいつ頃を想定しているのか伺います。 ④ 資料⑧、バスツアーで、盤尻溪谷とありますが、具体的にどこを回られたのかお聞きします。 また、参加者が99名となっていますが、その人たちの反応はどのようなものだったのか伺います。 また、カヌー体験をしたということですが、開発局の支援はどういった形で支援するようになったのか伺います。 ① それぞれの、例えば新型コロナや物価高騰に対応する資金ということ、ある一定の具体的な事象が起きたときに緊急的に実施してきましたが、見直し前の現行の融資の上限額は、それぞれ500万円です。今回はこれを廃止し、一般事業資金や小口事業資金の運転資金の上限額をそれぞれ1,000万円だったものを2,000万円、小口で言うと1,250万円だったものも2,000万円に引き上げるということで、こういった経営安定資金で賄っていたニーズを運転資金で賄うように整備しました。いろいろ資金の区分が多くて分かりづらいという声もいただいていたので、整理して分かりやすくしました。 ② 市内の商品を使っていろいろな事業をしようとする、分かりやすい例でいうと、市内の飲食店など、約110件の企業に加入していただき、市内のものを使って商品をつくろうということでネットワーク化をしている団体です。 商品の反応、評価ですが、現在、道の駅の協力をいただいて、この取組をしていますので、商品化になった際には、道の駅やえにわマルシェなどでの販売も今後できないかというところで、まだテスト販売の最中ですので、まだこの形で商品化になるというところまで決まったわけではありませんので、今後の育成を見守っていただきたいという部分です。
廣瀬花と緑・観光課長	③ 個人情報の兼ね合いから把握が困難な部分がありますが、既に恵庭に住んでいるとか、恵庭に4月から住むことを決めたということをアンケートの回答にいただいた方もいますので、既に住んでいる方もいると把握をしています。 ④ バスツアーの経路は、JR恵庭駅から白扇の滝に行き、その後、はなふるを見学して恵庭駅へ戻るとい、約3時間のコース設定をしたところです。 皆様の意見としては、料金や時間もちょうどいいという話を聞いています。手元にアンケートの集計表がありませんが、皆様満足されているという内容だったと記憶しています。 カヌーの支援事業について、川の利用の促進ということで、北海道開発局から民間事業者、川の利用促進のために補助金を交付しており、民間事業者が請負い、カヌー体験事業を実施したという内容となっています。
早坂委員	⑤ ③もう新たに住んでいる人もいますということですが、家を建てる用地は空いていたのか伺います。 ⑥ ④白扇の滝へ行って、ダム下公園辺りの紅葉も結構きれいだと思いますが、ダム下公園辺りも回っているのか伺います。 ⑤ 個人情報の関係もあり把握が難しく、あくまでアンケートの結果から恵庭に
上山商工労働課長	

廣瀬花と緑・観光課長	住むことを決めたという御連絡をいただいただけですので、その方がどこにお住まいかまでは把握が難しいところです。
早坂委員	⑥ 白扇の滝で約40分から50分の休憩時間を取っています。その中で三段の滝やラルマナイの滝を見られるということでしたけれども、そこからはなふるに移動しましたので、ダムの下には寄ってはいないということです。
廣瀬花と緑・観光課長	⑦ ⑥白扇の滝より上流も結構きれいだったり、ダム下公園の桜もありますから、できればより時間を取ってもらって見学してもらうのもいいかなと思いますが、やっぱり時間的に余裕がないということなのか伺います。
吉永委員	⑦ アンケートの結果によると、8割が3時間程度のツアーがちょうどいいということです。この中で来年度どのようなことができるのか、もっとはなふるにも寄っていただきたいという思いはありますが、改めて来年度継続しますので、どのようなことができるか、今後検討したいと思います。
上山商工労働課長	① 資料⑥、ここに書かれていないので、もう一回確認しますと、何のためのこの取組なのか、目的を明確にしたいため伺います。
廣瀬花と緑・観光課長	② 資料⑧、広報宣伝の充実強化というところで、広報拠点の施設の設置となっていますが、どのようなことをイメージされているのか伺います。
吉永委員	① 今後、北海道に住む必要がある従業員に対して、千歳市近郊の各市町の情報収集の便宜を図るために実施をしたいという、ラピダス社より依頼があって実施をしました。ですので、あくまで、北海道が初めての方が多いものですから、そういった情報収集の便宜を図るということで実施しました。
上山商工労働課長	② 今回の調査では、旧浄水場の現状や課題の抽出をしたほか、事業者の土地利用についてのヒアリングを実施しました。よって、建物の建設、施設などについては、今後、調査、研究をしていきたいと思っています。
廣瀬花と緑・観光課長	③ ①ラピダス社の従業員100名ということで、国籍について伺います。
吉永委員	④ ②この広報拠点と観光協会の関係はどのようになっているのか伺います。
上山商工労働課長	③ 国籍ですが、基本的には日本の方と聞いています。
廣瀬花と緑・観光課長	④ 現在、市内の観光情報については、本市と観光協会では情報共有を行っていますが、盤尻地区の広報拠点施設の関わりは、今後どういった連携が可能かについて調査していきたいと思っています。
吉永委員	③ 今後は外国人も増えてくると思います。とすると今度は若干教育になりますが、子どものことも考えなければいけないので、ぜひよろしくお願いします。
松島委員	① 資料⑥、従業員の方、北海道というか、この辺にずっと住む予定なのか、どういった方が多いのか、もし分かれば伺います。
上山商工労働課長	② どのぐらいの年代層の方の参加が多かったのか伺います。 ③ どういったことが質疑応答の中であったのか伺います。 ① ラピダス社は千歳に工場ができましたので、基本的には実際に工場で働くために引っ越してきますので、期限を区切った滞在というよりかは、そこでずっと働くためにということでお聞きしています。 ② 詳細についてはラピダス社から情報はいただけなかったのですが、ただ、説

松 島 委 員	明してほしい内容として、お子さんの教育、例えば幼稚園・保育園、資料ありますが、小・中学校とか、そういった部分を気にしている方が多いというところで事前に情報はいただいていたので、そういった世代、子育て世代の方がかなり多いのではないかと認識しています。 ③ 北海道が初めての方がかなり多いというお話がありましたので、例えば雪はどうか、恵庭は自衛隊があるようだが大砲の音はどうかだとか、生活密着した質問が多かった印象があります。そちらについては一住民として感じていることをその場でお答えしたところです。あとは恵庭にはどういったお店があるのですかとか、何かお勧めのお店はとか、かなり生活に密着した質問が多かった印象です。
上山商工労働課長	④ ③北海道が初めてなのでどういう状況かということですが、恵庭は確かに子育てしやすい環境ですとか、そういうところはアピールされたと思いますが、やはり、北海道が初めての方は、雪が苦手という方も多いと思ったときに、恵庭市は、宅地はこれから造成するということは検討されると思いますが、雪がすごくて困るという方はマンションを希望される方も多いのではと思ったとき、市内はなかなかそういったところが整備されていませんが、そういったことも含めて今後恵庭市として何かお考えがあれば伺います。 ④ こちらについても一回オンラインで説明会を開催しました。今後も北海道で生活するに当たって、北海道が初めての方はこういうことに気がつけたほうがいいですよといった情報提供はやっていきたいと思いますし、もちろんほかの市町村もやられるとは思いますが、特に恵庭に住むことを考えている方をターゲットに情報提供などはしていきたいと思います。マンションに関しては、私から答弁するのは難しいのですが、基本的には、実際に北海道に来て、恵庭に住んでいただくことを決めていただいた方に対する情報提供やフォローは、これまでもやっていますが、今後もしっかり進めていきたいと考えています。
柏 野 委 員	① 資料②、中小企業等振興融資制度の目的については資料の中でも記載がありますが、資金繰りに資することを目的としています。ただ、資金繰りに資することを目的とした結果、そもそもこの制度を実施することによって、こういったところを期待しているのか伺います。 それと、3種類のそれぞれの要件と違いを伺います。 ② 資料⑤、農商工連携ネットワークで、これまでも取組を様々やられてきていて、恵庭R Bパークとしてもこのネットワークに関わってきているというお話だと承知していますが、今回その名前としては出てきていなくて、これらに關してのR Bの取組と関わりがどうなっているのか伺います。 ③ 資料⑥、半導体に関する説明会、皆さんから御質疑があったところですが、恵庭のほかにもどこのまちがこういった説明会を開催しているのかお聞きしたいのと、移住の関連部署は説明に参加したのか伺います。 ④ 資料⑦、今後についてで、具体的な提案があればということです。この提案があればというのは、いつまでの期間を想定をされていて、これまでの説明の中では2者と民設民営に向けての取組というか協議をしているということとし

上山商工労働課長	たから、その1者から出てきたとして、いつまでは2者目を待つという対応になるのかというスケジュールについて伺います。 ⑤ 4月以降の見通しがどうなっていくのか。指定管理者を選定していない状態で、どのような運営になっていくのか伺います。特にフォレストアドベンチャーとかサッカーです。 ⑥ 前回の説明では、任意の協定ということで進んでいくというお話でした。今後どこかの時点で議案として議会の議決にかかってくるという認識でよいのか伺います。 ⑦ 前回の答弁では、集客、収益性に寄与するものなのかをまず審査するというものでした。今回は審査するという表現ではなく、整備方針に沿った事業内容であることを確認するという表現に変わっていますが、いずれにしても民設民営ということで収益性を確認、審査することですから、そうすると今後の維持管理で市の持ち出しはないという認識でいいのか伺います。 ⑧ 資料⑧、パークゴルフ場ですが、昨年の運営を踏まえて、令和7年度はどういった改善を図っていくのかをまず伺います。 ⑨ 今後について、スターリンクを活用したW i - F i 環境を整備していくという方針が示されていますが、これは市内で幾つかW i - F i を設置していると思いますが、スターリンクのアンテナとなったときに、盤尻地区だけで別途利用者としては何か設定をしなければ使えないという状態になると思いますが、そういう認識でいいか伺います。 ① 今年度見直しによって、道や千歳市の利率に合わせることでありますので、市内の中小企業事業者によっては利率が結果的に下がるということになりますので、借りやすくなるというところを期待しています。 細かい要件はたくさんありますが、主なところで、例えば一般事業資金は、市内に事業所を有する中小企業者等であることが絶対的な要件になっているところ、それから、設備も市内設備に限るという要件、小口に関しては、中小事業者の中でもさらに小規模な企業者を対象とした融資と、こちらも基本的には市内の者で市内の設備に限るというところ、起業家育成資金は、市内で新たに事業を開始する方を対象とした融資というところで、基本的には市内で事業をする、もしくは事業をしようとする中小企業者に対する融資だということところが要件になっています。今回の見直しは、ここの部分を見直すわけではありませんので、ここに関しては今回の見直しには影響しないというところも併せて説明させていただきたいと思います。 ② R B パークとの関わりは、今回の取組でいうと、会員になっていただいているというのは委員がおっしゃったとおりですが、現在報告できる具体的な取組については、こちらでは把握をしていません。 ③ 同様の説明会は札幌市、北広島市、千歳市、苫小牧市で実施したと聞いていますが、ほかのまちと意見交換をしたわけではありませんので、詳細についてはこれ以上は把握はしていません。 移住の部署も参加したのかということですが、移住についてもこの説明会の中では担当に出てもらい、説明してもらっています。
-----------------	---

廣瀬花と緑・観光課長	④ 1月の再ヒアリングの結果ですが、整備方針に沿った、合致した事業の実施が可能であるということで、提案したいというお話を受けているものですから、こちらからお話というよりも、相手側から提案があるのを今待っている状況ですので、スケジュールは未定です。 ⑤ 既存の事業者、ソフトクリームやフォレストアドベンチャーは、4月1日以降、農園も含めて引き続き実施できるよう進めているところです。ただし、多目的広場については、パークゴルフ場が閉園したということもあり、恵庭市直営で委託により、サッカー利用等を図っていきたいと考えています。 ⑥ 議決の必要性ですが、相手方の提案がまだありませんので、何が必要かということは現在も分からない状況です。 ⑦ 行政負担も、どの程度になるのか、提案を受けてからのお話になりますので、現在は未定ということです。 ⑧ 昨年度がプレオープンの開設ということもあり、利用者の声としては、芝の状態が悪いといった意見があることから、今年度のフルオープンに向け、昨年度の終盤に芝の種まきや肥料ですとかを実施したところです。こうした利用者の意見を基に、芝の管理なども含め改善等に努めて参りたいと考えています。 ⑨ スターリンクですが、IDとパスワードの設定が必要となります。
柏 野 委 員	② 資料⑤については分かりました。関わりないということで承知をしました。 ⑩ ①私もその要綱は確認をしていて、今回特に起業家育成資金については空き店舗での開業に限る、市内設備に限るとしていた条件が撤廃されていると思いましたが、これは全体の話ですね、全体としてその条件が撤廃されていると思ったのですが、そうしたときに起業家育成資金は、そもそも市内居住の要件もともと設けられていない状態の中で、今答弁の中では市内で新たに事業を開始するというお話がありましたが、中小企業等融資規則ではそういった要件は記載がなくて、審査の中でやるということなのか、そういった部分は規定として盛り込む必要がないのか伺います。 ⑪ ③移住の担当部署も参加をしているのはいいことだと思いますが、重要なのは、ほかに参加をしている自治体とどう差別化をして、その中で恵庭を選んでいただくのが大切と思っています。となったときに、説明の中でも札幌や千歳は知名度が高いということがあって、そこと違った部分を押し出していく必要があると思いますので、そういった意味では教育関係部署や幼児教育に関わる部署や、恵庭の特徴をもう少し表現できる部署も含めた説明体制が必要と思いますが、見解を伺います。 ⑫ ④相手方からの提案を待つということであれば、その2者が出そろうまで、令和7年度後半までずっと待ち続けるのか、一定の区切りが必要ではないかと思いますが、前回答弁では、公募型サウンディングを実施しているし、整備方針なども広く公表しているということだったので、そういうお話でいくと、今まで応募してきた2者以外でもそういった審査にかなうような事業の提案があれば採用できるということになると思いますが、それも含めて、いつまでも先に進むかどうか分からないという状態はあまり望ましくないと思いますので、一定の期間を定めて公募といったような手続を取っていく必要があると思

上山商工労働課長 廣瀬花と緑・観光課長	いますが、その点について伺います。 ⑬ ⑤それぞれの事業者が指定管理の下で整備をしたものや、そういったものが今後、本来であれば指定管理期間の終了とともに原状回復をしなければいけないというものが、どういう整理の下で今後も引き続きそういった事業者が管理をしていくことになっているのか伺います。 ⑭ ⑥ 議会としての関与がよく分かりませんが、自治法上は一定の場合については議会としても関与していく議決が必要になると思いますので、適切な時期に説明をいただければと思います。 ⑮ ⑦この間説明いただいていたのは、集客性や収益性については審査をすることか確認をするということです。収益性があるというのは、一般的には収支がプラスになることだと思うので、市の持ち出しはないものだと思いますが、それは審査をしていく基準として、市の持ち出しがないことが前提になっているということではないのか、そこだけ伺います。 ⑯ ⑧ パークゴルフについての昨年度のプレオープンを踏まえての改善については分かりました。 ⑰ ⑨この場所でネット環境が整うということは、これまでも検討してきた内容なので大事なことだと思いますが、ＩＤ、パスが独自で必要になったときに、なかなかその利便性が高まらないと思いますが、その中でどういう形で来訪者に伝えていく考えを持っているのか、まず伺います。 その上で、盤尻地区で様々令和７年度の事業を進めていきますが、それぞれの目標や成果指標、パークゴルフに関しても、来場者数に関しても、こういった目標設定をして令和７年度の取組を進めていこうとしているのか伺います。 ⑱ ⑩ 実際この要件は、もちろん審査の中で市内の要件であるとか、そういった部分は確認していくところです。規定は特段変更する予定はありません。現時点ではこの規定のとおりやっていきたいと考えています。 ⑲ ⑪ 説明会の際にはその担当にも出席をしてもらって、教育環境や、幼稚園・保育園の環境についても担当から説明したところです。 ⑳ ⑫ 提案の提出を待っているところですので、それが整備方針に合致するのか、それをもって確認していきたいと思っています。 ㉑ ⑬ 公の施設の指定管理の条例においては、原則撤去するとなっていると記憶しています。ただし、市長が定める場合ということで、この公園の活性化のためには、市としても残し活性化していきたいと考えていますので、施設を残した上で管理者に、管理する、土地を使用する、施設を使用する許可を与えながら、都市公園法に基づき運営していってもらいたいと考えています。 ㉒ ⑭ やはり提案がない状況で、どれぐらいの事業費かも分からない状態ですので、それを見て判断することになると考えています。 ㉓ ⑮ 昨年度紅葉バスツアーを実施したときに実証実験を行っています。そのときは、パスワードとＩＤをラミネートにして皆様にお知らせして、入力してすぐ利用していただいたことがあります。今回は白扇の滝で利用を予定していますが、そのような掲示をもって周知をして入力して、Ｗｉ－Ｆｉの環境を整えていくというように考えています。
-----------------------------------	--

柏 野 委 員	個々のソフト事業の成果指標は現在持っていません。ただ、様々なソフト事業を行っていきますので、やはりどれぐらいの入場者を目標にということは持っていきたいと思っており、例えばですが、来年度の紅葉バスツアーは、土日実施しまして、200人を目標に行っていきたいという目標を立てながら、観光消費額等の向上を図っていきたいと考えています。 ⑩ ⑩今回規則の見直しもするわけですから、私もホームページとか資料を見ましたが、その中できちんとそこは明らかにしていけないと、最初にお聞きした目的としては、当然恵庭市として中小企業を応援していこうということですし、それが将来的には税収として戻ってくることを期待していると思いますので、そこは要件を明確にする必要があると思いますが、考えを伺います。 ⑪ ⑪担当部署も入って説明しているということで、いいことだと思います。大事なのは、実際にお住まいになられた方が、会社なり関連企業との取引の中でそういった情報を伝えてもらうことも重要と思いますので、説明会の開催を要請されているということで、窓口となるところはあると思いますので、実際に移住された方たちに対しての何らかのフォローアップをした上で、ニーズに的確に対応していくことも今後に向けて重要と思いますが、考えを伺います。 ⑫ ⑫待っていくということなので、時期の見通しがよく分からないと思いますが、既存の指定管理者は、原則は撤去だけど、市として活性化のために残していくということでした。一方で、次の動きが決まって、実際に市として公募をかけていくときに、フォレストアドベンチャーが必要ということが分かっているのであれば、撤去しないという選択は分かります。だけど、現状それが宙ぶらりんになっていて、今後出てくる提案によっては撤去しなければいけないかもしれないと、そこがはっきりしない中で、なぜそれを残すことが活性化につながるという判断ができるのか私は理解ができません。市として公募条件を示した中で、その中にフォレストアドベンチャーが位置づけされているということであれば、それは例外規定として残す条件が満たされていると思います。でも、今後その2者の中で、フォレストアドベンチャーや、ほかの設備、要素が必要だというのはなぜ判断できるか、伺います。 ⑬ ⑬市の持ち出しは提案がないから分からないということですが、そこについては、これまでの議論を進めてきた、今回協定方式に進むとした前提がそもそも民設民営でできるということなので、その手法を選んでいくということです。仮に市が持ち出しをしてやっていくということであれば、その前提が崩れるわけですから、当然にその提案を受け入れる前提として、市の持ち出しがないものだと私は判断しています。それは答弁は要りません。 ⑭ ⑭観光まちづくりについては分かりました。ただ、バスツアーの人数の設定ですが、やはり今後、盤尻観光を振興していこうとするのであれば、パークゴルフもそうですし、実際に訪れていただく方が何人ぐらいいるから、ほかの何か関連事業をやるときの採算性や収益性がどのくらい見込めるのかの評価にもつながりますので、そこは今聞いても答弁いただけないと思いますけれども、もう少し具体的な入り込み人数ですとか、そういった数値目標を持った中で進めていただければと思います。答弁は要りません。
----------------	---

上山商工労働課長	⑯ 喫緊で必要とは考えていませんが、ほかのまちの事例も把握をしたいと考えています。
廣瀬花と緑・観光課長	⑰ ほかの市内の立地企業と同様に丁寧な対応に努めて参りましたし、これからも努めて参りたいと考えています。 ⑱ これまで2回のサウンディングを実施してきたところです。7事業者からヒアリングをさせていただき、既存の施設との連携については、集客に有効であるというお話を聞いた上で、昨年の12月に恵庭市では整備方針を策定しています。整備方針の中では既存施設との連携ということであって、既存施設と連携することによって集客・収益性を図っていきたいという方針を立てているということもありまして、令和7年度においても残して、将来とも残していく方針として計画を策定しているところです。
川 原 委 員	① 資料③、金融対策の①、令和8年3月31日以前の新規申請分を対象で、この件について廃止すると認識していたのですが、今回運転資金等、これは前の資料に載せてあります、非常に使いやすくなって、企業は喜んでいる。そういった制度に切り替えていただいて感謝申し上げます。それも含めて、この①は廃止なのか、継続していくのか伺います。 ② 資料④、中小企業振興基本計画について、今、中小企業は非常に苦しんでいる。何が困っているかという、人材が確保できないということがあります。今、如実に黒字倒産だとかが私の耳に入ってきています。これは中小企業振興基本計画の策定の中にこの部分、一番の困りごとで、人材確保計画は別個に立てられていますのは理解していますが、これとの連携について、伺います。 ③ 資料⑧、これは評価も高く、参加者も多いというのは報告を受けています。2ページ目、適切な役割分担のところの道道の道路舗装、ここが非常に重要なポイントです。あそこはあくまで道道ですので、市ではどうにもならないところもありますが、しっかりと一部分、整備されています。ですが、もっとひどくなってきています。あそこを通る、サイクリングをしている方とか、市民の方からパンクをするという意見もあります。それと、これから観光として施策を打っていくには、あそこの道路の整備は、道に対してしっかりやっていかないと成就ができないと思います。私が言いたいのは、観光バスツアーの評価は分かっています。バスツアーは平成15～6年からずっと続けてきて、中断もありましたが、改めて本市も取り組んで、バスツアーをやっています。しかし、最終の着地点はどのように考えているのか、観光として、盤尻観光の。バスツアーは分かりました。それを繰り返してずっと未来永劫それをやって、恵庭市に何かの効果を考えているのか、着地点は何を考えているのか、そこのところの考え方を伺います。 ④ 資料⑨、恵庭市花と緑の文化センターについて、これは大切なことです。それで、ずっと読ませていただきました。また、ここに書かれていない、どんな形でこれを運営していこうかというのが。構成員の名前はありますが、どのように運営して、この組織になるのでしょうか。何かの団体なのでしょうか、運営の具体的なプランを伺います。

上山商工労働課長	① 国のマル経融資の利子補給の件ですが、廃止が決まっているわけではなく、現時点で7年度までは対象とすることが決まっているだけで、8年度以降は、現時点では未定ですので、どちらでもないというところです。 ② 中小企業振興基本計画は人材確保計画と相まってという計画、中小企業の振興に資するという計画ですので、その際にはもちろんアンケート結果も過日お伝えしましたが、そういった部分も踏まえ、人材確保については計画の中に盛り込んでいくということを現時点では考えています。
廣瀬花と緑・観光課長	③ 盤尻地区の道路整備は、あり方検討会終了後の令和5年より、毎年、舗装の補修を北海道にいて、恵庭岳公園線の道路補修を継続して実施していただいています。令和7年度も継続実施していただくよう要望等、協議して参りたいと考えています。 事業の着地点ですが、現時点においては、盤尻の構想を、各懸案事項がありますので、個別事業を目的に事業を実施しているところですが、ソフト事業は、将来的には民間事業者が事業を自らやっただけの仕組みにしたいと考えていますが、それが難しい、例えば紅葉バスツアー等でしたら市が実施していくというような役割分担が必要と考えています。 ④ 令和6年度、花団体、観光協会、はなふるの管理者、指定管理者などを構成員とした検討会を開催し、事業の内容や今後の進め方、令和7年度以降の運営についてもお話をしているところです。ということもあり、令和7年度は運営チームを発足させるということで、皆様からの意見をいただいています。チームについては、今、検討会に入っています花団体や観光協会、はなふるの管理者、指定管理者、恵庭市も入りますが、そのほか誰がいいのかを今後協議していきたいと思っています。また、中間支援機能として必要だという御意見がありましたので、本日3月14日より地域おこし協力隊の募集を開始したところです。そのようなメンバーで7年度以降は実施していきたいと考えています。
川原委員	⑤ ①マル経の融資は国の政策でもあります。これは従業員が4人以下という中小、小さな企業、市も小口の資金の用意はしていますが、恵庭市の業者は多く利用されています。これは一回信用を確保したら、常に借換え等ができる、要するに、恵庭ですと事業を続けている小規模、従業員が4人以下のお店、事業者、その方はこれを使われて、借換えなり運転資金として使われています。恵庭市で今回は対応していただきました。それは非常に大事だと思います。しかし、今まで実績を持って何年も、何十年も実績を積んでマル経を活用して活動している方に対して、この厳しい経済情勢の中に元金でなくて利子を応援してあげること、これは中小企業に対して非常に力が湧くものと思っています。これこそ、マル経を借りている方に対しては、これから恵庭市として後押ししていただきたいと。残念ながら、初めてスタートアップ等で信用をまだつっていない方は、恵庭市の資金繰りで応援する、そういう判断を今回いただいたと、非常にありがたく思っています。そこで、申し上げたいのは、マル経の融資について、元金ではなく利子でも応援してあげる仕組み、未来永劫やりなさいという話ではありませんが、しっかり立ち直っていく、恵庭の経済の状況を見ながら、4人以下の企業を応援してあげる、そういうことをお願いした

上山商工労働課長 廣瀬花と緑・観光課長	いと思っていますが、令和8年の話ですので返答はできないと思いますが、マル経の金利について、所見を伺います。 ⑥ ②今、マスコミ等で、どこも人材がいないということで苦慮されております。このことはマスコミ等を見ていましたら、いろいろな施策を、これは市の財源まで投入して、ただお金を渡すということではなく、人材確保に対していろいろな手段・手法を使っているのを耳にしています。このことについて、やはり真剣に、人材確保計画以上にこの中小企業振興基本計画に人員を確保していく、このことが非常に重要だと思います。よそもやっているからうちもやりなさいとは申し上げませんが、よそでやっている仕組みについて分かっている部分がありましたらお聞かせいただきたいと思います。 ⑦ ③盤尻の景観、紅葉、評価が非常に高くなってきている、市もそのような発言をされていますし、私もそうと思っていますし、参加者もそのような認識でツアーに参加されていると。もうそろそろ思い切って紅葉祭りをやりませんか。市がやることは難しいと思いますが、民間に委託してやって行きませんか。もう。そこが最終の落としどころで、紅葉祭り、これが恵庭の知名度、ポテンシャルがアップすることにつながっていくと思います。紅葉バスツアーだけではイメージが上がらないと思います。紅葉祭りというのは非常に魅力が高いと思います。ぜひそういう方向で、そろそろそこを着地点に恵庭のステータスのアップを考えていきませんか。そこに駐車場がありませんので、シャトルバス系統、スキー場に車を止めてもいいですし、いろいろなことに経済効果、地域の経済にお金が落ちていく仕組みをつくってください。その辺のところを私は提案したいと思いますが、紅葉祭り、恵庭市が主催、応援した紅葉祭りについて、考えを伺います。 ⑧ ④形的には考えられていると思うので安心しましたが、ここにはなふるの運営委託をしている指定管理者のガーデンシティが大きく関わってくるべきではないかと思っています。今の答弁では、その一部という形と聞こえたのですが、はなふると併せて、これも恵庭の経済に大きく関わってきますし、他市からもたくさん呼んでほしいと思います。やっぱり民間が入り、商売と考えると、みんなですばらしいことを言っても盛り上がりには足りません。ガーデンシティ恵庭が民間の立場で、利益そして経済効果、それをしっかり取り組んでもらう一つと周知したほうが効果が高いと思いますが、考え方を伺います。 ⑤ 現在未定で、令和8年度以降については、令和7年度中に何かしら方向性を出すことになると思いますので、今いただいた御意見を踏まえて検討して参りますので、今この場でこうという案を申し上げることはできませんが、そのように考えております。 ⑥ 例えば道外の事例ですと、商工会や市、あとは人材の求人広告とか人材紹介をしている会社と協定を結んで、地元企業の雇用と人材定着を促進するような取組などがあるということも、把握はしていますので、全く同じことができるかどうかは分かりませんが、こういったことも参考にして計画の策定は進めたいと考えており、また計画の中身は改めて報告させていただきと思います。 ⑦ 引き続き紅葉バスツアーは恵庭市主導で行っていきたいと思っていますが、
-----------------------------------	--

川 原 委 員	紅葉祭り等は、やはり民間等の活力が必要だと考えていますので、民間事業者が自主的にやっていただけるよう進めて参りたいと考えています。 ⑧ 既に検討会の中には、はなふるの管理者として協議に入っていただきます。指定管理者ですので、今後も試行事業を行う場合は、密接に協議を行い進めていきたいと考えています。 ⑨ ⑤物価高騰に関する経済対策について、共通認識を持てたと思っています。今回新しく使いやすい小口の資金、恵庭市の資金を用意していただきました。そこで借りて実績をつけて、国の制度に移っていただき、最初のスタートのときはマル経は厳しい審査があります。スタートからは難しいと思います。やはり、恵庭市の小口を使わせていただき、実績をつくって、マル経に移っていただくというステップ、そういう流れを私はイメージしていますので、多分市もそのように考えられていると思っていますが、考えを伺います。 ⑩ ⑦民間が手を挙げてくださいという話はちょっと違います。これは政策的にやっていくべきです。ずっとやれとは言いません。採算のことも、民間がすぐ手を挙げてくる話ではありません。これは、市がやるか、やらないかです。初年度やって、あとは民間に流す。民間は、利益が出てもうかると思えばやりますから。それだけの財産、環境、恵庭にはあります、盤尻に。秋に行ってみてください、すばらしい紅葉と、白扇の滝でなくても、ちゃんと説明すれば市民は必ず、市外の方も必ず来ます。お金を落としてもらいましょう、恵庭市に。きっかけづくりは市が腹をくくって1発目はやる、2発目は民間に手挙げ、サウンディングを取る、いろんな手法ができる。スタートから民間が手を挙げてくるのを待って、バスツアーだけやっていますという、そういう形はいかがかなと。恵庭市が発展して、恵庭市の自慢のある場所は社会に、世界に広げていきましょう、そこまでの恵庭のまちです。所見を伺います。
上山商工労働課長	⑨ 次年度以降も不断の見直しは必要になりますが、市内の中小企業の振興のために資する施策を考えていく、また提案して参りたいと考えています。
廣瀬花と緑・観光課長	⑩ 昨年度、令和6年度実施した中で、音楽フェスが資料にあります。こちらは、実は民間事業者が全て自己負担で、恵庭市はお手伝いをさせていただいたのですが、費用は民間の事業で行っていただいています。費用負担、市の負担が必要だということもありますが、できる限り民間主導でやっていただける仕組みで進めていければと思っています。
江 川 経 済 部 長	⑩ 私の見解としては、内容的には課長から答弁したとおり、基本的には財政負担の件もありますし、今後は1回だけという形では終わらないということも考えていますので、その辺も含めた中では、やはり民間の投資でやっていただくのが一番と考えていますので、御意見としては承りたいと考えています。 (委員長と副委員長交代)
武 藤 委 員 長	① 資料⑧、商工会議所主催による森林鉄道跡地の視察はすばらしいことですが、これに入れていただきたい、検討していただきたいということでお話をします。恵庭には、昭和の初めに光竜鉱山と恵庭鉱山が操業していました。特に

	恵庭鉱山は恵庭という名前がついていますから、これは平成5年、1993年に郷土資料館主催で、盤尻再発見ということで現地を視察、見に行っています。恵庭鉱山について、鉱山の近くには、これは百年100話という本、これに恵庭鉱山社宅、集会所、学校、郵便局、病院、木工所、浴場、床屋、最盛期には700名を超える方がここで働いていたということが書かれていますね。ぜひこれを産業遺産鉱山として活用を検討していただきたいと。現状どうなっているのか、これは私自身も分かってはいませんが、この森林鉄道跡地の視察のときに一緒にできるかどうかは別として、ぜひ前向きな御検討をお願いしたいと思います。御見解を伺います。
廣瀬花と緑・観光課長	① 現在、盤尻地区のまちづくり構想では、産業遺産として森林鉄道が位置づけられています。光竜鉱山、恵庭鉱山の産業遺産としての活用については、今お話がありました文献等や、やはり皆様の意見をお聞きして、まずは調査をした上で進めなければならないと考えていますので、まず文献や実際に関わった人にお話を聞きながら調査を進めて参ります。
武藤委員長	② ①現在の郷土資料館の職員の方もこの資料には名前が出ていますので、これらの方は非常に貴重な方で、退職されてしまうと、もう現状を知っている方がいないということで、時間的にも最後のチャンスだと思いますので、ぜひ前向きな検討をお願いしたいと思います。
江川経済部長	② 課長から答弁した内容のとおり、調査を、文献等も含めてしたいと思っています。また、そういった話がありましたので調べたところ、その場所の所有権がまだ民間に残っているということもありますので、その辺も含めた中で今後どうしていくか、資源として活用できるかも調査したいと考えています。
	(副委員長と委員長交代) 1) 報告事項終了 <u>11時30分 休憩</u> 11時37分 再開 2) その他所管事務調査について
早坂委員	【質疑】 ① 恵庭公園に湧き出ている水ですが、湧き出ている水がユカンボシ川に流れています、何とかあの水を活用できないか、例えばスーパーではどここの天然水とかで売っている状況で、恵庭でも恵庭の天然水とかをつくって売り出せば売れるのではないかとということとか、あるいは、京極の湧き水、ふきだし公園とかありますけれども、あのような感じで湧き水を汲めるような状況にすれば、恵庭公園でその湧き水が汲めるという観光材料にもなると思って、それも恵庭公園から湧き出ているということで、その利用を何とかできないのか、御所見を伺います。

小林水道部長	① 京極ですとか、様々な観光エリアで湧き水を飲料水として提供しているのは承知しています。しかしながら、水道法に伴い、それに合致するのかというところがまず大前提になります。ラルマナイ川の源流について、恵庭公園に確かに存在しているのは承知していますが、飲料水として提供できるものでは現状ないと認識しています。一方で、恵庭市内で、飲料水として、いわゆる湧き水、湧水と言われるものがあるのかということになりますと、民間で御自宅の敷地内でそれを自らが飲用水として使っているという話を伺ったことはあります。それが果たして、観光用として万人の皆様にペットボトルなどで提供できるか、そこから実際に水を汲むという行為ができるのかとなりましたら、水道法が適用するものなのかも含めて、衛生上の問題もありますから、それらをしっかり調査しなければならないと考えています。それが現実的に可能かということは、今現在私が答弁できませんけれども、様々なクリアすべき条件があることをお含みおきいただいたうえで、もしそういう事業をしたいというお話があれば、当然相談には乗っていかねばならないと考えています。
早坂委員	② ①ユカンボシ川の源流ですね。ユカンボシ川の水が恵庭公園から湧き出ているということで、水質検査をすればオーケーということになるか伺います。
小林水道部長	② まず、飲料水として水道法で適用になれば、そこは可能になる。ただ、それが果たして事業として、どこがどういう形で提供していくのかと。そこはまた別問題ですが、飲料水ということに関しますと可能です。しかし、一般的にあのような公園の場で湧水として、それが川として流れている大量の水がありますが、水道法に適用するかはかなり厳しい状況であると考えております。
早坂委員	何とか施設をつくって、湧き水だから大丈夫じゃないかという一般的な考えですけれども、よろしく御検討をお願いします。
川股委員	① 今日報告事項で盤尻地区の観光振興で報告がありましたけど、緑のふるさと森林公園、様々なツアーをやっており、魅力のあるところだとは思いますが、位置づけとしてどのように考えているのか、現状も含めて伺います。
廣瀬花と緑・観光課長	① 盤尻地区にある公園ということで、年間一万数千人、昨年度は来ていただいていますので、多くの方に来てもらえるような施設となるよう進めています。事業ということですが、様々なソフト事業を行っております。乗馬、引馬乗馬体験、木工体験、さらにはクイズラリー等を行い、集客を図っています。
川股委員	② ①私の個人の認識です。緑のふるさと森林公園に訪れる市民の方、市外の方も含めて、少しずつ減ってきている気がします。理由は、エゾシカによる食害で木の肌が食われ、剥がされて、丸めくれになっていたり、場所によってはヒグマが、出没まではいきませんが、観測されることもあり得たり、以前と違って憩いの場所あるいは緑豊かな癒やしの場所、そういったところでは最近なくなっているかと思っています。国有林をお借りして恵庭市で公園化していると認識していますが、今のままではどんどん利用客が減ってしまうのではと考えています。先ほど川原委員から、紅葉祭りをやったらどうだと言っていたが、例えば、餌がなくて出てきてしまう鹿を大量に捕獲して、鹿の食肉加工業が恵庭にはありますから、そこで加工してもらい、あるいはお祭りで串焼き、

	ハンバーグ、あるいは、寒い時期ですと鹿肉の肉まんというのが最近巷で出始めています。ひと頃のジビエ、猟師が撃って処理してというのではなく、しっかりと大きな罠で生きたまま捕獲して、それを新鮮なまま肉に加工する、立派な食材となってきています。地産地消の最たるものであると思います。そういった部分では、ある意味、今は害を及ぼしていますが、逆に考えると利用して、先ほど言われた紅葉祭りにも一役買えるようなことも検討の中に入れられるのではと考えています。新たな目玉として、せっかくのすばらしいロケーション、それから管理棟に向かって左側は散策路があつて、右側が一番上に行くと遊具や休める場所がありますが、芝生が鹿の糞だらけでは子どもを連れてピクニックもできない状況というのは、やっぱり検討しなければならないと思っています。御所見を伺います。
廣瀬花と緑・観光課長	② コロナ禍以降なかなか、入場者数が戻っていない現状です。熊等については、カメラを設置し、毎日安全確認を行った上で公園を開園しています。公園のにぎわい、入場者数を増やすという事業に関しては、ソフト事業を行って少しでも多くの方に利用していただこうとしています。その中で、鹿の駆除ということですが、公園内、利用者もいる中で駆除をするのは安全上の問題があるのではないかということが、今お話をお聞きして心配になったところです。ということもあり、どう進めていくのかは様々、文献や調査できる法的なものですか、調査していかなければならないと考えています。
川 股 委 員	③ ②ヒグマについては、監視カメラをつけて監視しています。決して緑のふろさと森林公園が危険だと言っているわけではなく、人が多く訪れることによってヒグマが出てくること自体も抑止効果が出てくるということが1点。それで、訪れる人を増やすこと。駆除については、銃器をもって駆除することは公園では不可能だと思います。エゾシカは、秋口は冬の手前で脂肪を蓄えておいしくなる時期ですので、そういった時期に一時的に利用を止めてでも大型の囲いなどで一網打尽にする方法もあると思います。工夫次第で、大事なことは現状をどのように打開して、恵庭のためになっていくかを検討していきたい、それが観光振興にもつながっていくことではないかということで、あえて発言させていただきましたので、その辺りも含めて再度御所見を伺います。
江 川 経 済 部 長	③ 有害鳥獣、その部分の対応は課長から答弁はさせていただいたとおりに思いますし、川股委員から駆除の方法も、わなですとか、銃器を用いて駆除ができれば本当はいいのですが、そこが駆除できるエリアかどうか、手元に資料もございませんし、明確な答えができませんが、その辺は調査をさせていただきたいと思います。ただ、ジビエの件についても、調査をした中で、そういった結果を見ながら、そこがジビエの囲いなどを設置して、駆除できるかといったところにも関わってきますので、今は明確なお答えはできませんが、そういった意見が委員からあったということで受け止めて参りたいと考えています。
柏 野 委 員	① シルバー人材センターの補助金で、予算審査特別委員会でもお聞きしたところ、令和5年に補助金の交付要綱を作成し、明確化したということでした。要綱を頂いたのですが、その中では高年齢者就業機会確保事業費等補助金（シル

上山商工労働課長	バー人材センター事業分) 及び雇用開発支援事業費等補助金 (シルバー人材センター事業分)、交付要綱で規定されているものは補助の対象経費として認めるという記述があります。要綱では、人件費や事務所費の、どこまでが補助対象経費とされているのかをまずお聞きします。その上で、国で定める交付限度額はいくらになるのか伺います。
柏 野 委 員	① 手元に細かい資料がありませんが、基本的には国の基準が国庫補助対象の人件費の額というところで規定されている部分、それから、運営に関する部分が定められていると認識しています。7年度でいうと、その額で国の補助額どおりに支出したとすると、2, 216万5, 000円になると認識しています。
上山商工労働課長	② ①今の恵庭市のシルバー人材センターの会員数を考えたとき、現状の業務をやっていくために何人工が必要で、それに対してどの程度の収入があって、やっていけば運営していけるという認識をお持ちなのかをお聞きします。それと、これまでの行革の事務事業評価の中で書かれていたのは、剰余金が出ている状況での補助金交付の妥当性の議論があって、現状、剰余金も把握できる仕組みに変えたと思いますが、剰余金はどの程度出ているものなのか伺います。
柏 野 委 員	② 細かい資料を持ってきていないので、お答えしづらい部分がありますが、現在のシルバーの職員数ですが、9人か10人ぐらいだったかと認識していますので、基本的にはその人員が運営には必要だと認識しています。 剰余金は、詳細までは手元に資料がないのでお答えすることは難しいですが、今回の7年度予算の計上をした際には、そこの分を差し引けるような形で計算式を組み立てていますので、そこの部分を引いた上で補助金の額は算出していると理解をいただければと思います。
上山商工労働課長	③ ②今いる人員が全部必要だということですが、業務としては、生きがい就労の部分もあると思いますが、一方で、例えばルルマップ自然公園ふれらんどの中の農園の管理ですとか、どちらかというと自主事業的な部分もあると思っていまして、生きがい就労として、高年齢の方に対して仕事を提供していくということを考えてときには、今いる人員体制全てが必要だということにはならないと思っていますけど、現状の人員体制を含めて、営業経費ですとか、そういったものは全て必要な範囲に入っているという認識でいいのか伺います。 ③ そのような認識で構わないと思っております。 2) その他所管事務調査について終了 日程2. 経済部関連終了 <u>11時 58分 休憩</u> 13時 00分 再開 ●日程3. 建設部関連 (1) 報告事項 資料説明⑩令和6年度 除排雪の状況報告について
山下管理課長	

大林公園緑地課長	資料説明⑪恵み野中央公園改修基本計画の策定について
	資料説明⑫公園のあり方等検討委員会における議論について
田中土木課長	資料説明⑬奥御料線整備事業について
佃市営住宅課長	資料説明⑭市営住宅指定管理者制度導入に関するサウンディング型市場調査結果について
吉永委員	【質疑】 ① 資料⑫、3ページの一番下の公園の通報システムとキャンプ場の予約システムですか、この現状、どれぐらい、どのような形になっているか伺います。 ② 5ページの公園でのカーボンフリー電力を調達ということで、市のホームページを見ますと、芙蓉総合リースのページを参照されていて、そこを見ると何かいろいろ書いてありますが、よく分からないので、もう少し詳しく伺います。 ③ 5ページの下段の公園の在り方で、トイレの話、ここでは基本的に夏場の話しか出てこないのですが、冬に使えるトイレは四つと思いますが、冬も含めて近くの公共の施設を使うこともあるのでしょうか、全体として冬場はどういうふうに考えるのかを伺います。
大林公園緑地課長	① 恵庭市の公式LINEアカウントを活用して新たにつくったもので、通報システムは令和6年11月、予約システムは令和6年9月から運用を開始しています。通報システムですが、このシステムを使うことで、土日も含めて24時間通報を受けられる状況がつけられるということで非常に期待しているところですが、公園のシーズンオフに近い11月に運用を開始したこともあり、今日現在で通報はまだ1件です。予約システムは、まずは柏木レクリエーション施設に限定して、キャンプ場に限定をして今運用しています。こちらもキャンプシーズンが終わりに近づいた9月の運用開始ということで、今のところ1件という利用実績です。雪解けが大分進んできましたので、これからホームページとかえにわかを通じて、広報・宣伝を進めて参りたいと思います。 ② 恵庭市では令和4年度に公園灯のLED化を既に実施しており、大幅に排出するCO₂を削減してきたところですが、電気の契約を見直すことによって、要はカーボンフリーの電気を購入することでさらにCO₂の排出削減ができるということで、これらの取組を進めているところです。 ③ あり方検討委員会では、一時避難所に指定されていることと、トイレがあるものの関係性であったり、昭和56年以前に建てられたトイレもかなりの数があるものですから、こういったものの取扱いも含めて今後どうしていこうかを検討しております。冬季の利活用できる公園トイレは、結論はこれからですが、大きな公園に限定してということになると思っていますが、公園の利用があるところについては積極的に検討して参りたいと考えています。
吉永委員	④ ①私も市の公式LINEアカウントから入ってみたところ、このメニュー、その前に市のホームページにも使い方、通報の仕方ということで載っているのですが、メニューを出すところがちょっと引っかかってしまいました。この一つ前のメニューをどうやれば出せるのかが分かりにくいということがありましたのでぜひ改善をお願いいたします。

大林公園緑地課長	⑤ ②参照を見ると、器具を一回契約し、その中でということも書いてあったので、もう少し分かりやすい説明をホームページでしたほうがいいと思います。 ⑥ ③近くに公共施設があって、憩の家や地域会館ですか、あればまずいいと。市全体を考えたときに、例えば恵庭公園のトイレも、あくまでもあれは公園を使う人のため、あそこに車を置いてトイレに行くと時間的に間に合わない可能性もあります。地域を限定して、広く検討していただければと思います。 ④ ホームページで使い方の説明をアップしていますが、初めて恵庭市公式LINEに登録された方は、最初にトークを押して、それからメニューに進むとなっており、そこが分かりづらいと今感じました。初めて登録された方でもスムーズにメニューに進めるように、ホームページの表記なども含めて改善を図りたいと思います。 ⑤ いろいろな取組をしており、そういったものをホームページで分かりやすく、こういうことをやっていますというのを表現できるように見直して参りたいと思います。 ⑥ 基本的には公園利用者のためのトイレということで運用を図っているところもありますが、利用者数をカウントしてみますと、宅急便やタクシーの運転手であったり、そういう方も利用されているのも把握していますので、今後この委員会の中でよい方向性を見いだしていければと考えています。
吉 永 委 員	特にトイレのアンケートは、267人に対して女性が89人ということですね。特に女性、冬、ぜひ考えていただけるようにお願いします。
柏 野 委 員	① 資料⑪、恵み野中央公園の改修基本計画ですが、資料1という別添の資料の9ページを見ますと、軽スポーツひろばに関する記載があります。こういった新しい取組は必要だと思いますが、周辺の住宅地への影響に最大限配慮ということや、運営管理の方法も今後整理ということです。音の問題ですとか、その地域の中で理解される方法が重要だと思うので、そこの考えを伺います。 ② 資料⑬、奥御料線の整備について、新道②が供用された後には、現状の奥御料線は一部供用廃止という御説明です。一昨日の厚生消防常任委員会では、リサイクルセンターの移設に関する検討状況で、盤尻のほうが優位にあるという説明がありましたが、その中ではルートとして2経路あることが優位にあるという理由の一つとして挙げられていました。これは新道ができた後、一方しか通れないということになるのかということと、ゲートがどういう扱いになるのかということ、もう1点は、適切な道路規格という記載があり、これは現状どの程度の車両がどのぐらい通行する見込みか、伺います。 ③ 資料⑭、2ページ(7)市民サービスの向上で、丸が6個ある中で四つ目、空き家修繕を効率的に行い、現在の入居募集戸数の倍増が実現可ということです。近年、非常に予算づけをしていただいて、修繕は非常に多く出していると思いますが、これは現状の予算の中で、例えば50件、60件という戸数を供給できるということによろしいのか伺います。
大林公園緑地課長	① 軽スポーツひろばは、3on3やスケートボードを想定していますが、非常にトラブルの多い施設で、要望の多い施設でもあります。この施設をできるだ

田中土木課長	け公園の中心に持ってくるということで、既存の住宅からの距離を確保するように配置を検討して参りました。もう1点、音の対策として、このパークについては1週ぐるっと柵で囲む形を取ろうと考えており、要するに鍵で利用できる時間を制限するような形を取りたいと考えています。何時から何時までにするか、どういう管理にするということは、周辺の町内会の方とも打合せをしながら、今後、運用方法を検討して参りたいと考えています。
佃市営住宅課長	② まず1点目、基本的には1本のルートで考えていますが、現道の奥御料線の中には水道企業団の送水管等が布設されており、そちらの布設替えが将来的に予定されているということ、また、リサイクルセンターの関係等もあり、基本的に供用廃止にしたとしてもルートとしては確保して、そういった工事のときには振替えができるような形はしばらくは取っていくべきと考えています。 2点目、現在、新道①の一番下のところにある最終処分場のゲートは、新道①の一番終点側というか、一番登り切った上のところの市道から外れたところにゲートをつける予定です。 3点目、現在浄水場で使っています職員の乗用車や、浄水場を運営するための薬剤等を運ぶ大型車、市営牧場などに行く車を想定しており、台数は最大で日500台程度で見込んでいます。
柏野委員	③ 市では現在、新規入居に係る住戸修繕をしています、様々な地方自治法に基づいた契約行為を進めて、大体30件を年間やっていきますが、年間の契約は、いろいろなプロセスを踏んでいかないと発注まで至らないというところも現実としてあります。こういった部分を今回指定管理者の事業者に対する、参加事業者に対するサウンディングを行ったところ、工期的な部分は、民間活力導入によってスピード感を持って対応していけるということ、今回サウンディング型市場調査でも意見の中でいただいていた、そういった部分で年間50件、そういった修繕戸数をやることで新たな住戸確保を目指していくということでお話しているところです。 市営住宅に関しては、非常に力強い御答弁をいただきまして、期待していますので、よろしくお願いいたします。 資料⑪に関しても、市民からは要望の多い施設だと思っていますので、それがしっかりと地域の中で理解されるような取組ということで運用していただければと思っています。
川股委員	① 資料⑭、市営住宅に関しては委託の業務があると思います。現在の維持管理での委託の業務よりも指定管理制度がより有利であるという理由を伺います。 ② 恵央町はPFIで事業を進めている最中ですが、PFIの事業者と指定管理者、これからなろうかと思われる指定管理者ですが、その業務の区分のすみ分けはどのようにお考えなのか伺います。 ③ この指定管理者制度の業務として、現在の維持管理業務以外で業務として考えている、想定している業務があれば伺います。
佃市営住宅課長	① 市営住宅の管理運営業務は、時代の変化を背景として、入居者から日々寄せられるニーズは多様化しており、業務範囲を特定して実施する委託業務では、

川 股 委 員 佃市営住宅課長	こうした多くのニーズに円滑で速やかな対応が現実的に難しいため、包括的に管理運営業務を担い迅速な対応が可能となる指定管理者制度のほうが、さらなる入居者サービスの向上と管理運営業務の効率化につながるものと考えているため、指定管理者制度の導入は有利性があると考えています。 ② 恵央P F I 事業の住戸管理は、建物等の維持管理や共益部の草刈り・除雪、共益費の決定・徴収という、いわゆる施設管理を中心とした業務はP F I 事業者が担うこととなり、各種申請・受付等の補助、授受行為など、いわゆるソフト的な部分になりますが、そういった入居管理は指定管理者で担うこととすみ分けを考えています。なお、他の団地は、全て管理業務については指定管理者が業務を担うということで考えています。 ③ 今後、指定管理者を導入した場合、市で実施してきた入退去の管理や施設管理などの業務は指定管理者に移行するほか、現在行っている維持管理業務で想定している業務としては、各団地の住棟で入居者が行っている管理人業務や入居者に対する24時間サポート窓口、定期的な見守りサービスなど、市民サービスの向上につながる入居者支援を指定管理業務として付加していくことを想定しています。 ④ ②P F I 事業で入居者が事業者へ問合せをする際、内容によっては、P F I 事業者あるいは指定管理の2者のうちどちらか判断して問合せをしなければならないという懸念が考えられます。何か解決策をお考えであれば伺います。 それから、新たな募集を行う際、空き家の修繕は市で行っていくのか、指定管理者が行うのか、指定管理者が行う場合には地元事業者との連携はどのようにお考えなのか伺います。 それから、指定管理者における事務所等の開設場所ですが、どのようにお考えなのか。例えば市役所に割と近いような場所であって、今まで以上に市民に不便を与えないとか、そういったことはどのようにお考えか、伺います。 ④ 業務区分ごとに事業者が違うことに対して、解決策としては、今回サウンディング型市場調査でも事業者への聞き取りを行っていますが、指定管理者側でワンストップで対応が可能という御意見をいただいているところです。このことから、入居者の問合せ先の混乱がないよう、指定管理者へのワンストップ窓口ということで考えており、問合せ内容がP F I 事業関連の業務範囲でしたら、指定管理者からP F I 事業者へつなげていただいて、円滑に対応を行っていくことを想定しています。 新たに新規募集を行うための住戸修繕は、住戸タイプや階層など応募ニーズに基づき選定していくことになります。そうしたことから、市と指定管理者との協議をしながら、ここを徹底していきたいと思っており、住戸修繕業務については指定管理者で実施することで今のところ想定しています。また、修繕業務などにおける業者については、迅速性を確保しながら取り進めていきたいと強く考えており、地元業者の活用などを考慮しながら取り進めていくということを想定しています。 指定管理者の制度移行後の事務所の開設については、まず入居者の方々と様々な窓口対応が必要となると考えています。そうした中で、市内での事務所
-------------------------------	--

川 股 委 員	の開設は必須として捉えているところです。また、市の福祉部門の窓口との関連性も多くの入居者にとってはありますから、入居者の利便性に影響の少ない場所を開設していけるように調整を図っていくことを今想定しています。 市営住宅の指定管理者制度の導入の検討に当たりましては、市民の利便性も当然ありますし、サービスの向上、費用対効果も大事であると思います。そういったものをしっかり勘案していただいて、導入する、しないについて検討を進めていっていただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。
松 島 委 員	① 資料⑭、様々お聞きしたところで、住民の方もこれまですごく負担に感じていたことがかなり解消されると思って、本当に感謝するばかりです。今まで草刈りや除雪とか、そういったことはそれぞれの団地ごとにお金を出し合っていたと思いますが、住民の方の負担というのはあるのかどうか伺います。
佃市営住宅課長	① 入居に係る今後指定管理者を導入した場合の施設管理は、例えば、今は入居者が行っている草刈りや除雪業務という考え方でありますけれども、ここはまだ想定範囲なので、具体的なものは詰めていませんが、入居者の責務としてやらなければいけないのは、共用スペースの管理という部分は変わらないと思いますが、その部分を指定管理者導入によって軽減していくということですが、負担の軽減ということは、今共益費の中でやっていただいていますけれども、そこは基本的なラインとして同じような形で考えていくということをベースに調整は進めていきたいと思っています。
松 島 委 員	② ①負担というのは、今までは除雪や草刈りは、皆さんでお金を出し合っていたと思いますが、今度は指定管理者でそういったこともやっていただけたと思いますが、住民の方がお金を出すということがあるのか伺います。
佃市営住宅課長	② 指定管理業務導入における共用部分は、その指定管理業者において、業務としてはいろいろサポートをしていくのですが、その負担は共益費の中で一部御負担いただくということで引き続き考えています。
川 原 委 員	① 資料⑭、今回の報告とちょっとずれていますが、2回目の質疑に当たたいのでお聞きしたいのですが、令和6年度の使用料の収入状況が分かれば教えてください、まだ確定していないと思いますが、令和5年度の決算では99.7%の収入で、未済が820万ということで決算書には載せてあります。令和7年度の使用料の予算でも99.7%の使用料収入という予定で組んでいます、令和6年度はどうなっているかと思って。感覚で結構です。感覚という言い方はおかしいですが、いわゆる机上の計算で現在、決算ではありませんので、不確定で結構ですので、そのところを伺います。
佃市営住宅課長	① 市営住宅使用料ですが、令和6年度の決算見込みとして、宅使用料でおよそ1億6,400万円で想定しています。収納率にして大体同等程度、99.7%というような収入を見込んでいます。ちょっと前後しましたけれども、今令和6年度現在、令和7年2月現在の収納状況では、約1億4,000万円程度収入をしているという状況です。令和6年度における2月現在の過年度の使用料における収納未済額は、723万円程度となっています。

川 原 委 員	しっかり回収というか、徴収されているなど。過去はそれこそ随分言った覚えもありますので、しっかりやられているなどということで安心はしました。 ② 我々会派で、市営住宅を指定管理者制度にすべきではないかという感じをずっと持っており、下関市に視察に行って参りました。それが4項目ぐらいあります。今回も指定管理者が徴収の義務を負うことになっていますが、徴収について縛り、100%徴収していただくのは当たり前のことですが、予算の99.7%、これが100%にいった場合、別途報奨金を出しているという自治体もありました。よくやったということで、それでモチベーションを上げているということです。恵庭市の場合は、今までそんなに大きく滞納をしていないので、結構ですが、やはり、これはしっかり徴収をしていただきたい。 ③ 個人情報、指定管理者になると家族構成なり、いろいろな情報がありますが、個人情報の管理をして、しっかり徴収をしていただく。維持管理していくためには、個人情報の問題がネックになるかと思います。行政の場合はしっかり管理できていますが、民間に委ねるとなれば個人情報の関係について社内規定を設けさせることによって指定管理者制度を運営していく、個人情報に抵触しないようにやったということです。 この市は、指定管理にすることによって、5年間で1,350万円軽減しました、かかる費用が。職員3名を削減できました。KPIがあったと報告を受けています。そうすると、何よりも職員の精神的な、心理的な負担を軽減できた。これは答弁は要りません、そのとおりだと思いますので。 ④ ここは入居受付ははがきのみでしており、事後審査型の入居決定を行っているということです。今報告したのは全部よそのまちのデータとして報告させていただいたことについて聞かせていただければと思います。決して私がやれとか、そういう話をしているわけではありません。伺います。 ② これまで指定管理を導入した市町村のお話を聞くと、確かにそういう部分を導入している市があるということはお聞きしています。どういう形になるかは、今後、業務内容等を検討していくことになりますので、今やるというようなことは申し上げられないのですが、情報をいろいろ聞いている中で、検討の一つとしてはあろうかなと思っています。 ③ 入居者に係る情報は、特定個人情報も絡むので、かなり厳密に扱わないといけないというのは同じ感覚です。個人情報に係る取扱いをどうしていくかは考慮しており、個人情報の管理について厳格に取り扱う部分をどこに設定するかも検討することになりますが、いずれにしても協定か何かの中で、仕様の中できちんとうたった中で管理をしていかないといけないと考えています。 ④ 入居受付については、本年度からその事務を軽減するためにインターネット等の電子受付を開始しているところです。これまでは窓口に来ていただいて、入居申込みをしていただくということを常としてやっていました。受付をして事後審査という流れは一緒ですが、今これだけインターネットで何でもできる時代ですので、そういったものを活用し、本年度の新規入居受付から電子申請をお受けして、そこで申請を受けるということをやって、事務の軽減を図っていくところなので、今後指定管理者制度を導入することになっても同じような
----------------	--

佃市営住宅課長

川 原 委 員	形で、入居希望者の事務を軽減するということを目下にして業務の調整を取り進めていきたいと考えています。 ⑤ ②使用料ですが、１００％頂くのが当たり前のルールですが、やはり報奨金を出すことによって、業者がそれによってあまりにも強力的になっていくと逆に取立てみたいなことになったらいけない。だけど、甘えちゃいけない。だから、徴収をお任せするということは、９９．７％は下がらないでくださいと、最低でも。それで、１００％を目指してくださいというのは、お互いに紳士協定があるべきだと思います。緩くなって、やっぱり入居者は強いですから、住んでいるね。だけど、ちゃんと回収しなくてはいけないというのは大前提です。だけど、取立ては駄目ですよという、難しいところだと思います。インセンティブをあげるということも一つの判断かもしれませんが、そこで甘くなってしまうと、９９．７％からどんどん下がっていくとなったら、それこそ税金の無駄遣いですので、難しいと思いますので、協議をお願いしたいと思います。 ⑥ ③個人情報について、私が言っているのは、社内規定、個人情報に対する取扱い、その担当者、それを指定管理者に出してもらって、行政がそれをしっかり精査して、それでいいかどうか。行政が考えて押しつけるのではなく、やっぱり指定管理者が、これは大事なことから規定をつくっていただきたい。その規定を行政が審査する、そういうスタンスでいかないと駄目かと思っています。今課長の話では、自分たちで、行政が一生懸命つくって、何とか個人情報に抵触しないようにやろうと聞こえましたが、やるのは民間の会社ですので、その方々がその気になっていただかなければ絶対駄目だと思いますので、手続の関係ですが、気持ちは同じだと思いますが、私が言っているのは、社内規定で業者の方に考えていただいて、それを行政が審査し、いい、悪い、そういう関係で深めていただきたい。そのことについて、伺います。
佃市営住宅課長	⑥ 個人情報の取扱いは非常に大事だと思います。その中で社内規定をどう取り扱っているかなのですが、今回事業者が参加した中では、個人情報の部分の取扱いについて取り組んでいるというお話も、対話の中で聞かせていただいたところもあります。そこを今後条件としてどうしていくかは、どういったものを必須にするかはもう少し精査をさせていただきたいと思いますが、いずれにしても取扱いとしては重要という認識をしています。
今野建設部次長	⑤ 徴収に関して、今、直営のほうでも、徴収率１００％を目指して、決算でも１００％という年度もありまして、徴収員で直営で働いている内容とか、そういうところも、いろいろな入居者がいる中でそういうことを実現するために、いろいろなノウハウを使って対応しているところです。指定管理になっても、そのノウハウの引継ぎもしっかりしながら、市の業務を委託するという、そのような形になろうかと思っていますので、ある程度入居者と今取り立てているノウハウ、方法をしっかりとつないでいながらやっていきたいと思っています。 １）報告事項について終了 ２）その他所管事務調査について

	【質疑】なし 2) その他所管事務調査について終了 日程3. 建設部関連終了 1 3 時 5 8 分 休憩 1 4 時 0 6 分 再開 ●日程4. 水道部関連 (1) 報告事項 資料説明⑩緊急貯水槽整備工事の完成について 資料説明⑪下水道GXの取り組みについて
長谷上水道課長 平井下水道課長	
吉 永 委 員	【質疑】 ① 資料⑮、予算審査特別委員会でふと廊下から見ましたら、雪の中であの大きな貯水槽がどこにあるのか分からないぐらい立派な工事をされていましたが、その給水の場所についても分からないという状況だったのですが、どのような場所なのか、あと看板等で表示されればいいかと思いますが、伺います。 ② 資料⑯、発電量、年間の使用量の9%がこの太陽パネルで賄われ、かつ60%の電力単価ということですが、これを令和6年度、令和7年度の予算で説明をお願いします。
長谷上水道課長	① 緊急貯水槽は市民会館前の道路に沿って設置しています。現在は、給水弁室ですが、そこが見づらいということでポールを立てています。ただ、夏期、冬期にかかわらず設置場所が分かりづらいというのはありますので、標識等の設置を検討したいと考えています。給水場所ですが、給水弁室がちょうど自転車置場の側にあります。そこからホースを延ばして、ちょうど花壇を越えたところまで持ってこられるので、駐車場側のほうで給水が可能かなと思います。
平井下水道課長	② 令和7年度の予算要求の段階では、PPAによる削減は考慮していません。電力量単価の違いによって予算は令和6年度より下がっています。今回のPPAの電力量効果としては、約300万円が減額になる予定です。
吉 永 委 員	③ ①貯水槽は分かりました。発災後、誰がその場所の給水設備を給水できるようにするのかを伺います。 ④ ②今回年間150トンのCO₂の削減ができるとのことですが、これは再エネクレジットの対象だと思われますが、これを外部への売却もしくは内部留保する等、今後どうするのかを伺います。
長谷上水道課長	③ 緊急貯水槽を稼働させるには、ホースや発電機、手動ポンプ、折り畳みの給水栓などが必要となりますので、それは第2庁舎にあります。それを職員が運び、現場で組み立てて、職員で応急給水する形になると思います。
平井下水道課長	④ 事業の詳細についてちょっと不勉強な部分がありますが、PPA事業という

吉 永 委 員	ことで、民間事業者が発電したもので、自社で太陽光パネルを設置して、それを使用しているというわけではありませんので、あくまで民間事業者が発電した電気を購入しているということです。再エネクレジットが使えるか使えないかという、ちょっと難しいのかなと思っています。
平井下水道課長	⑤ ④基本的には、北電から買っているものは化石由来の発電であって、今回のものは太陽光ですので思ったのですが、なかなか難しいですね。少々研究していただいて、もし再エネクレジットで使えれば非常にいいことだと思います。最後に、P P A事業ですが、太陽光パネルの寿命といいますか、20年という長いスパンですので劣化はどのようなものなのか、伺います。 ⑤ 太陽光パネルの耐用年数ですが、国税庁の主な減価償却資産の耐用年数表という17年とされています。また、一般的に期待される寿命としては25年から30年と言われており、今回の事業では、メーカー保証としては25年となっています。発電効率の劣化指数ですが、年間0.5%程度と言われており、20年後は、1年目に比べて約90%の発電量となると想定しています。 (1) 報告事項について終了 (2) その他所管事務調査について
柏 野 委 員	【質疑】 ① 昨年の3月に御説明があったウォーターP P Pの導入に関して、令和6年度中にサウンディング調査などを実施をし、令和7年度に導入の判断を行うという御説明をいただいていた。この進捗等、導入判断の時期が近づいてきていると思いますので、何月ぐらいにその判断に至るのか伺います。
平井下水道課長	① 今年度導入の可能性調査を実施しており、まだ成果としては受け取ってはいませんが、その結果を受け、令和7年度の早い時期、何月とは申し上げられませんが、中身を精査して適切な時期に判断していきたいと考えています。 (2) その他所管事務調査について終了 日程4. 水道部関連終了 (理事者及び執行部退席) ●日程5. 閉会中の所管事務調査項目について なし 日程5. 閉会中の所管事務調査項目について 終了 ●日程6. その他

	なし 日程 6. その他 終了 委員長が閉会を告げる (1 4 時 2 2 分 終了)
--	---